

令和2年度学校関係者評価報告書

日本こども福祉専門学校
学校関係者評価委員

日本こども福祉専門学校 学校関係者評価委員は、令和2年度学校自己評価の結果に基づき、学校関係者評価を実施しましたので、以下のとおり報告致します。

[学校関係者評価の基本方針について](#)

1. 令和2年度学校関係者評価の開催日時及び場所

日時：令和3年5月20日（木）15:00～16:00

場所：日本こども福祉専門学校 502教室

2. 出席者

役職	所属	氏名
学校関係者 評価委員	社会福祉法人鑑郷保育園 理事長	廣井 茂道
	「関連業界関係者」 株式会社星光堂薬局 販売教育部 部長	佐藤 学
事務局	日本こども福祉専門学校 学校長	井口 明彦
	日本こども福祉専門学校 こども保育学科 学科長	金子 亜美
	日本こども福祉専門学校 くすり総合学科 学科長	佐々木 春奈
	日本こども福祉専門学校 事務局長	松尾 章弘

3. 次第

- (1) 学校長挨拶
- (2) 出席者紹介
- (3) 学校関係者評価 趣旨説明
- (4) 自己評価結果に関する報告及び意見交換
- (5) 講評
- (6) 総括

4. 自己評価に基づく学校関係者評価

- (1) 学校の教育目標 (2) 学校運営

(1) 自己評価

	自己評価	結果
1	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	3
2	学校における職業教育の特色は何か	4
3	社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
4	学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者に周知がなされているか	3
5	各学科の教育目標、育成人材像は学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4

適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1

(2) 現状

- ・学校における職業教育の特色は入学前から明示できている。
- ・職業現場との情報交換の機会が確保されている。また、教育の動向についても早めにキャッチし5年後を見据えた計画ができています。
- ・令和3年度くすり総合学科で、カリキュラム変更済み。

(3) 今後の課題等

- ・「新時代に対応した高等学校教育の在り方」に合わせて、スクールミッション・スクールポリシーを整備したい。
- ・保護者へ周知する仕組みについて検討する。

2. 学校運営

(1) 自己評価

	自己評価	結果
1	目的等に沿った運営方針が策定されているか	3
2	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4
3	運営組織や意思決定機能は規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	3
4	人事、給与に関する規定等は整備されているか	4
5	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	3
6	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3
7	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4
8	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4

適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1

(2) 現状

・適正に行われている。

(3) 今後の課題等

- ・スクールミッション・スクールポリシーの策定。
- ・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制について外部の指摘等を受けられるようにしていく。

《学校関係者評価》

保護者の方へ向けた周知が不足していれば、高校生向けのガイダンスなどでパンフレット等を使って周知もできると思う。

高校生へ向けてアナウンスなされるというのも良いと思う。私共でいうと受け皿になる保育士からされると非常にいいのと思う。

コンプライアンス体制のところ、当社でも法令は変わっていくものなので、毎月1回、各部署でコンプライアンスに抵触しそうなことがあれば、その場で共有と対応について考える委員会を開いている。随時変わっていくものなので、リスクコンプライアンス委員会などで対処するという方法もあると思う。

(3) 教育活動

3. 教育活動（保育）

(1) 自己評価

	自己評価	結果
1	教育理念などに沿った教育課程の編成・実施方針などが策定されているか	4
2	教育理念、育成人材象や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
3	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
5	関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成、見直し等が実施されているか	4
6	関連分野における実践的な職業教育が体系的に位置づけられているか	4
7	授業評価の実施・評価体制はあるか	4
8	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
9	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4
10	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
11	人材育成目標の達成に向け授業を行うことが出来る要件を備えた教員を確保しているか	4
12	関連分野における業界等との連携に置いて優れた教員を確保するなどマネジメントが行われているか	4
13	関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力の育成など資質向上のための取組が行われているか	3
14	職員の能力開発のための研修などが行われているか	3

適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1

(2) 現状

- ・業界関係者を非常勤講師として迎え、関連分野の先端的な知識・技能等を身に付けることができている。また、各教員がそれぞれの専門分野の研修に参加している。
- ・法人内研修は行われているが、学内・学科内研修は不定期である。

(3) 今後の課題等

- ・職員の資質向上のための取組として、今後も積極的に研修への参加を促すとともに、学科・学校として環境（予算、授業調整など）を整えていくことも必要である。
- ・学内・学科内研修を定期的に行っていく必要がある。

3. 教育活動（くすり）

（1）自己評価

	自己評価	結果
1	教育理念などに沿った教育課程の編成・実施方策などが策定されているか	4
2	教育理念、育成人材象や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
3	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
5	関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成、見直し等が実施されているか	4
6	関連分野における実践的な職業教育が体系的に位置づけられているか	4
7	授業評価の実施・評価体制はあるか	4
8	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
9	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4
10	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
11	人材育成目標の達成に向け授業を行うことが出来る要件を備えた教員を確保しているか	4
12	関連分野における業界等との連携に置いて優れた教員を確保するなどマネジメントが行われているか	3
13	関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力の育成など資質向上のための取組が行われているか	4
14	職員の能力開発のための研修などが行われているか	4

適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1

（2）現状

・教員については、関連分野における業界から優れた教員を確保はできていないが、人材育成の目標達成に向けた授業を行うことができる教員は確保できている。

（3）今後の課題等

・今後は関連分野における業界とも連携をとり、教員数が不足した際には優れた教員を確保できるマネジメントを行ってきたい。

≪学校関係者評価≫

(こども保育学科)

子どもの様子、家庭の様子が変わってきている点で、いろんな現場との関係ができていけば、学生に対しての教育へ反映できるのではないかと。保育では、全国的な研修会があるので、情報をキャッチしたら紹介していきたい。勉強になり、教員養成の先生方が多く出席するので、交流が図れると良い刺激になると思う。

(くすり総合学科)

接客マナーや症状の聞き出し、適切な対応、そのような教育であれば協力はできる。

(4) 学修成果

4. 学修成果 (保育)

(1) 自己評価

	自己評価	結果
1	就職率の向上が図られているか	3
2	資格取得率の向上が図られているか	4
3	退学率の低減が図られているか	3
4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
5	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4

適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1

(2) 現状

- ・就職に向けたガイダンスや卒業生による就職ガイダンスなどを通して、就職課とクラス担任が連携しながら、学生の希望に応じた就職支援に取り組んでいる。
- ・学生・保護者との面談等を積極的に行うなど、可能な限りの支援体制をとって退学者の低減に努めているが、現状退学率を0%にできていない。
- ・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価については全ての学生で把握できていない。

(3) 今後の課題等

- ・就職先の選択に迷う学生に対しては、学生の希望に応じたきめ細やかな支援を行う。
- ・相談体制・支援体制を充実させ、退学率が0%になるようにする必要がある。
- ・卒業生の就労状況(活躍や継続)を把握・調査し、卒業生への支援体制を充実させる。

4. 学修成果（くすり）

（1）自己評価

	自己評価	結果
1	就職率の向上が図られているか	4
2	資格取得率の向上が図られているか	4
3	退学率の低減が図られているか	3
4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4
5	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4

適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1

（2）現状

- ・2名の退学者が発生した。

（3）今後の課題等

- ・毎月学生との1on1を実施し、学生の気持ちや考えを把握したうえで、学生の居場所を確保していきたい。また、キャリア支援を充実することにより退学者をなくしていきたい。

《学校関係者評価》

就職率の向上、退学率の改善が素晴らしい。教壇に立っているといろんな学生がいる、自己紹介してもらおうが、何を指すのか、迷いがある学生がいる。迷いがある学生が多く進学されている傾向があると感じる。受け皿が広がっている点では、退学することが悪いことだけじゃないが、改善には驚き。学ぶ中で変化もあるだろうし、それでも変わらない所もあるかもしれないが、食いつきがいい学生も感じる。卒業生の把握、専門学校などは把握しやすい環境であると思う。学生もそういう点ではいい雰囲気であると感じている。ホームカミングデーなどを検討してはいかがでしょうか。

退学の理由も様々だと思うが、ある程度は仕方がないと思うが、なるべくせっかく入学した学生がいるので、1on1は有効だと思う。本人が行きたいところに就職できたかが重要。どうすれば採用されるか、どういう人材が求められているのかなどを学生へ理解してもらうことが大事。我々もそういう説明は協力したい。高校などは卒業生についてのアンケート調査が来たり、どう働きぶりかなど、そのようなやり方もあると思う。

(5) 学生支援

5. 学生支援（保育）

(1) 自己評価

	自己評価	結果
1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
2	学生相談に関する体制は整備されているか	4
3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4
4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
5	課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
6	学生の生活環境への支援は行われているか	4
7	保護者と適切に連携しているか	4
8	卒業生への支援体制はあるか	3
9	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4
10	高校・高等専修学校との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4
11	関連分野における業界との連携による卒後の再教育プログラム等が行なわれているか	3

適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1

(2) 現状

・卒業生への支援体制・再教育プログラム等は必要に応じて個別に行われている。

(3) 今後の課題等

・学科・学校で体制づくりをし、充実させていく必要がある。

5. 学生支援（くすり）

(1) 自己評価

	自己評価	結果
1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	3
2	学生相談に関する体制は整備されているか	4
3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4
4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
5	課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
6	学生の生活環境への支援は行われているか	4
7	保護者と適切に連携しているか	4

8	卒業生への支援体制はあるか	4
9	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4
10	高校・高等専修学校との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4
11	関連分野における業界との連携による卒後の再教育プログラム等が行なわれているか	3

適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1

(2) 現状

- ・定期的に保護者懇談会と保護者面談を行っている。また、必要な学生に関しては、保護者と連絡を取り、連携して学生をサポートしている。
- ・関連分野における業界内での教育プログラムが確立されているため、連携は行っていない。

(3) 今後の課題等

- ・業界内での教育プログラム以外に学校での再教育プログラムが必要か検討したい。

《学校関係者評価》

保育士対象の研修会について、希望すればいろいろあるかもしれないが、業界の方でも私立であるとなかなか手が届かないのが現状。個別に悩みを持った職員に対して支援できればオフィスはいい環境だと思う。

実習については支援体制が課題。実習が月間80時間という縛りがあると受け入れが難しい面もある。受け入れ側からすると、実務経験満たしてなくても試験に合格しているとウェルカムなので、受け入れはしやすくなる。一つ考慮してほしい。継続研修もあるし社内研修もあるため、卒業後のプログラムは必要ないのではと思います。

(6) 教育環境

6. 教育環境

(1) 自己評価

	自己評価	結果
1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3
2	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4
3	防災に対する体制は整備されているか	3

適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1

(2) 現状

- ・前年の自己評価後にWi-Fiを強化する工事を実施したが、まだ接続が弱い教室がある。
- ・前年の自己評価と同様に避難経路図の掲示ができていない。

(3) 今後の課題等

- ・Wi-Fiの無線機を増設することで同時接続にも対応する。
- ・今年度の避難訓練実施日までに避難経路図を配置する。

《学校関係者評価》

昨年はオンライン授業が多いと聞いたが、当社でも集合研修はほぼなくなっている。同期同士が集まる機会も大事なので研修による効果も検証したい。学校の授業も極力対面でやると良いと考える。

- 1 年生の実習で保育士をやめたいという意見を聞く。公立の保育園だと実習の方法によっては、残念な思い。もっと自由に1日や数日行っておいでなど、いろんな保育があるということを見てもらうというのも良いのでは。実習で保育から離れることの予防になるの。

以前行っていた海外研修についてはどうか。非常にいい雰囲気学生も和やかになった。なんとか再開できると良いと思う。

(7) 学生募集

7. 学生の受入れ・募集

(1) 自己評価

	自己評価	結果
1	高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取り組みが行なわれているか	4
2	学生募集活動は適正に行われているか	3
3	学生募集活動において、資格取得・就職状況等の情報は正確に伝えられているか	4
4	学生納付金は妥当なものとなっているか	4

適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1

(2) 現状

- ・くすり分野は開設当初に比べたら認知が広がっているが、さらに認知を広げる必要がある。
- ・動画での認知やWEBオープンキャンパスの対応が弱い。

(3) 今後の課題等

- ・高校生や高校の先生への認知。動画、WEBオープンキャンパスへの対応。

「学校関係者評価」

登録販売者については周知が広がっていると感じる。大学でも、登録販売者の授業があるという情報を聞いた。そういうのをきっかけに興味を持つ人もでてきている。

(8) 財務

8. 財務

(1) 自己評価

	自己評価	結果
1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
3	財務について会計監査が適正に行われているか	4
4	財務情報公開の体制整備はできているか	4

適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1

(2) 現状

・適切に行っている。

(3) 今後の課題等

・特になし。

「学校関係者評価」

特になし。

(9) 法令等の遵守

9. 法令等の遵守

(1) 自己評価

	自己評価	結果
1	法令、専門学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
2	個人情報に対し、その保護のための対策がとられているか	3
3	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	3
4	自己評価結果を公開しているか	4

適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1

(2) 現状

- ・在宅勤務規程を作成し、個人情報保護について明記した。
- ・教職員で共有するデータは制限をかけて外部から見えないようにしている。
- ・前年の自己評価後から改善できていない項目がある。

(3) 今後の課題等

- ・自己評価後に課題を挙げて実行する計画を立てる。
- ・学校運営会議で実行状況を報告する。

≪学校関係者評価≫

特になし。

(10) 社会貢献・地域貢献

10. 社会貢献・地域貢献（保育）

(1) 自己評価

	自己評価	結果
1	学校の教育資源や施設を利用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
3	地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか	3

適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1

(2) 現状

- ・教育訓練は実施しているが、公開講座は実施していない。

(3) 今後の課題等

- ・地域に対する公開講座として、教員の持っている知識や技能を資源として活用していく。

10. 社会貢献・地域貢献（くすり）

(1) 自己評価

	自己評価	結果
1	学校の教育資源や施設を利用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
3	地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか	3

適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1

(2) 現状

・適切に行われている。

(3) 今後の課題等

・公開講座については今後検討していきたい。

《学校関係者評価》

(こども保育学科)

チルドレンフェスティバルなど地域の方との交流にもなるイベントは非常に良いと思う。学生の発想や先生の引き出し方が良いと思う。

出前講座みたいなのもいいかも、ピアノの先生など、出前講座などあるといい。サークルとクラブ活動などのアフタースクールを楽しめる活動があるといいなと思う。

授業も多い中ではあるが地域に対してもいい事業ができると思う。

(くすり総合学科)

社会人に向けた教育訓練をぜひやっていただきたい。公開講座については当社でも依頼がある。薬を正しく使うことは大事なことなので知られていないことを、誤った知識を正すなどのテーマにした公開講座なども良いと思う。